

第4回 三井のリハウス東京都U-12ブロックリーグ前期・後期第10ブロック大会要項

- 日 程 平成30年4月1日～10月上旬(予備日は設けない)
- 会 場 砂川中央グラウンド、府中少年サッカー場、国立多摩川G他
- 大会方式
1. 参加39チームを昨年度同リーグの成績順位に基づき1部10チーム、2部10チーム、3部A10チーム、3部B9チームに振り分け総当たりリーグ戦を前後期2回行う。
 2. 本大会前期の成績により同リーグ2018年度後期のカテゴリー編成を行うが、その入れ替え方式は次の通り。(都リーグの成績に影響されない)
△3部A及び、3部B各1位は後期2部へ自動昇格
△2部上位2チームは後期1部へ自動昇格
▼1部下位2チームは後期2部へ自動降格
▼2部下位2チームは後期3部へ自動降格
 3. 本大会後期の成績により同リーグ2019年度前期のカテゴリー編成を行うが、その入れ替え方式は次の通り。
(東京都U-12リーグからの降格及び当ブロックからの昇格チーム数により、その昇降格数を決める。)
(次の○は決定、◆は都リーグからの昇降格数により流動的)
【前提条件】毎年都リーグに昇格できるチームは最大1チーム。降格してくるチームは加入している都2部の全チーム。(本年度はO)
○1部はいかなる昇降格があっても10チームで固定する。
○3部A及び、3部B各1位は来期2部へ自動昇格
○2部上位2チームは来期1部へ自動昇格
◆1部下位2チームは後期2部へ降格(例外あり)
◆2部下位2チームは後期3部へ降格(例外あり)
次のケースの場合は降格数が1～3チームの範囲で変更する。
① 都リーグの2チームとも残留し、かつ都リーグへ1チームの参入ができた場合は来期2部、並びに3部への自動降格は1チームのみ。
② 都リーグの2チームとも残留し、かつ都リーグへ参入ができなかった場合は来期2部、並びに3部への自動降格は2チーム。
③ 都リーグ残留が1チームでもう1チームが当リーグに降格して来た場合で、かつ都リーグへ1チームの参入ができた場合は来期2部、並びに3部への自動降格は2チーム。
④ 都リーグ残留が1チームでもう1チームが当リーグに降格して来た場合で、かつ都リーグへ参入ができなかった場合は来期2部、並びに3部への自動降格は3チーム。
⑤ 都リーグ残留が2チームともできず、当リーグに降格して来た場合で、かつ都リーグへ1チームの参入ができた場合は来期2部、並びに3部への自動降格は3チーム。
⑥ 都リーグ残留が2チームともできず、当リーグに降格して来た場合で、かつ都リーグへ参入ができなかった場合は来期2部、並びに3部への自動降格は4チーム。
尚、2018年度以降都少年連盟の競技方法変更に伴い、調整・変更する可能性がある。
4. リーグ戦においては勝点制(勝ち=3、引き分け=1、負け=0)とするが同勝点の場合は①得失点差②総得点③当該チームの結果④大会中退場の少ない方⑤大会中警告の少ない方⑥コイントスの順にて順位付けをする。
 5. 今リーグより、事務局にてマッチメイクしていないカードが存在する。また、予備日を設けず各カテゴリー幹事の指揮のもと、消化すること。
 6. 幹事は次の通り。(後期同リーグ残留の場合は年間を通しての幹事となり、昇降格のあった場合は、前期終了時に新たな幹事を選定する)
1部 府中南 飯田さん
2部 VIDA 長谷川さん
3部 西国分寺 村田さん
3部 くにたち 山本さん
- 競技規則
1. 下記2項から8項以外は、日本サッカー協会「2017/2018競技規則」による。
 2. 8人制による競技とする。交代ゾーンを使用する「自由な交代」を採用する。但しGKの交代はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。ピッチ上では常に8人いなければならない。
 3. 試合時間は、原則20-5-20分とするが大会の消化状況その他の事情により短縮する場合がある。尚、給水タイムの採否に関しては本部の判断とする。
 4. ピッチの大きさは、縦68m×横50mを基本とする。できる限りこの大きさにすることが望ましいが、やむをえない場合は各会場の責任者に一任する。
 5. 試合球は4号ボール(本部にて準備、空気圧0.8)使用。スパイクは固定式に限る。
 6. 交替は、交替ゾーンを使用し、主審に通知することなく交替できる。但し、ゴールキーパーの交替はアウトオブプレー中に主審の許可を得て行う。

7. 試合毎にベンチに入ることができるチーム役員の数、最大5名までとする。そのうち、2名以上の引率指導者がベンチ入りを必須とし、その他から1名のみ、メディカルスタッフまたはトレーナーとして入ることができる。引率責任者は、参加するチームを掌握指導できる責任ある成人であり、うち1名以上が日本協会公認資格?級コーチ以上または公認キッズリーダー・ブロック指導者講習会受講者であること。なお、2019年度からは、試合ベンチに入る全ての引率責任者が、日本協会公認D級コーチ以上が必要となる。また、ベンチに入るチーム役員は、事前にコート本部に届け出なければならない。
試合途中やむを得ない事情で2名未満となる場合は別の指導者を補充できるが、できない場合は参考試合（不戦敗）として扱う。
選手に関してはその試合のエントリーした選手だけが入る。
なお、交替要員はユニフォーム姿のままベンチに座らないこと。
8. キックオフから直接得点することはできない。キックオフからのボールが直接相手ゴールに入った場合は相手チームのゴールキックで再開する。

審判

1. 主審1名、補助審1名の2人制でおこなう。
2. 派遣審判員制度による割り当てを行う。

注意事項

1. 悪天候による中止等は、当日の第1試合開始2時間30分前までに決定する。（ただし、現地集合後の順延決定もあり得る）
2. 会場準備は、会場責任チームが中心となり、第1試合、第2試合のチームから各2名以上の協力により行う。遅くとも第1試合開始1時間30分前には集合すること。
3. 参加チームによる代表者ミーティングは行わないが、到着の証に代表者は本部到着連絡をする。
（但し、真如苑芝生ひろばにおいては開始前のミーティングが義務付けられており、第一試合開始予定時刻の30分前に代表者は集合すること。）
4. メンバー表は各試合開始30分前までに1枚を本部に提出する事。（連続で試合を消化する場合は速やかに提出）また電子選手証は各々の選手でプリントアウトせず、チーム一覧としてプリントアウトし提出すること。
5. メンバーチェックは、メンバー表に記載されている選手について各試合開始10分前、本部に集合して行う。第1試合については試合開始15分前よりおこなう。
6. 第1試合のチームには、試合開始25分前から20分前まで5分間ピッチの使用を認める。但し、自治大学校、真如苑芝生ひろば、朝日サッカー場は試合以外の練習をピッチで行えない。
7. ユニフォームは色の異なる正副2着（正副で番号が揃っているもの）を必ず用意すること。また、胸番は必ず付いていること。（持っていないと失格・不戦敗・場合によっては参考試合を行う）本部、及び審判部はユニフォームチェックを行わない。両チームがメンバーチェック前に全ユニフォームを持ち寄り、「はっきりと解る（もっとも遠い色）」を自主的に判断して着用すること。
8. 各会場の注意事項をしっかりと把握すること。応援は本部にて決められた場所にて行うこと。特に駐車制限台数、スペースを守り（路上駐車厳禁）、必ず各クラブ作成の「駐車票」を掲示すること。
9. 天然芝グラウンド使用時の飲料は水のみとする。ただし、「JFA熱中症対策ガイドライン」及び「10ブロック熱中症対策について」に則り休憩時には許可されたエリアでスポーツドリンク等による給水を認める。
- 10 片付けは、最終試合の2~4チームが本部の指示に従い行うこと。

移籍について

1. 移籍はリーグ期間中でも認められる。
2. 移籍先での出場も認められる。
3. 補足) 9/30までに移籍と大会エントリー登録が完了して入れば、移籍先で全日本少年サッカー大会ブロック予選に出場できる。